

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
NPO法人そくしん そくしん河南（放課後等デイサービス）		2025年 3月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	4	園庭のスペースを広く取り、伸び伸びと体を動かせます。	落ち着いて過ごせる、個室スペースが必要かもしれません。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11		安全を意識しつつきめ細やかな療育を行うため、基準より多い児童2人につき1人の割合で配置し、さらに1人余分に配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11		施設内を改装し、狭かったトイレ周りを車椅子での介助が出来る広さを確保しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11		営業開始終了毎に除菌や清掃を徹底しています。過ごしやすい空間にするため、状況に合わせた配置にできるようにしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	3	訓練室の角際に扉をつけた1畳ほどのスペースやキッチンのある部屋の一角にカーテンで仕切りをして簡易的な個別の部屋としようできます。	個別のスペースが不足していますので、可能な範囲で環境づくりをします。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11		毎日のミーティングの時間を長く取り分けることにより、療育や業務全体の質の向上を目指しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	2	アンケートを実施し、保護者の意見や要望は都度把握しています。	アンケートに基づき改善させていますが、全てに取り組むにはさらに時間と努力が必要です。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		公開しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		11	義務化されていないため、実施していません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		毎月の社内研修や、療育向上のための研修を定期的に受けていただき、資質向上に役立てています。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		公開しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11		個別支援計画をもとに個別の療育内容を考慮し実施しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		支援会議や社内研修、日々のミーティングの機会に職員間で情報を共有し、最善のサポートに関して意見を出し合いながら検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		支援会議や社内研修、日々のミーティングの機会に計画を共有し、その計画を確実に実行できるよう努力しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	2	日々真剣に取り組んでいます。	とはいえ標準化までには至っていません。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		児童別のニーズに合わせて、支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		定期的にチームで考慮しています。	

支援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1	新たな活動を常に取り入れるよう努力しています。固定化してはいませんが、パターン化しているプログラムがあります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11		宿題や学習は個別に行い、歩行訓練やスポーツを集団で行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11		担当を決めて、それぞれの児童がその日行う療育や課題を把握し取り組んでいます。長期休みの時はコミュニケーションツールで確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11		終了前の時間に業務日誌を入力しながら各児童の成果や課題について意見を出し、書き込み、共有化を図っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		業務日誌をPC内で管理し、個別支援計画や親、本人の意向に関連した事柄を定期的に振り返りながら、今後の取り組みに役立てています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		個別支援計画をもとに個別の療育内容を考慮し、実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11		想像力を高めるパズルやブロック遊び、自然公園に外出し季節の変化を肌で感じるように取り組んでいます。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11		はじめから決定事項に従うよう指示するのではなく、いくつかの選択肢を用意し、自分で決定できるよう支援しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		毎度、児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	5	適宜連携を図って支援を行っています。	病院との連携が弱いので、対策が必要と感じています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11		毎回送迎の際、学校の先生とコミュニケーション取り、連携して支援しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	3	直接は行っていませんが、相談支援事業所からの聞き取り情報によってかなりの程度理解を得ています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11		現在、該当する児童がいませんが、必要が生じた場合はいつでも実施しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11		紹介される中で特に必要と思われる研修を積極的に受けるよう努力しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	8		ここ数年は感染症対策のために取り組みませんでした。今後機会を見出します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	11		石巻市女川町自立支援協議会と連携し協力しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		連絡帳や送迎の際、必要な場合はメールを通して意思疎通を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	2	ペアレントトレーニングの研修を受けていますので、必要であれば取り組み方法をお伝えすることができます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		契約の時に説明させていただいております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	3	相談していただけたときは応じています。	もっと相談を受けやすい環境づくりノウハウを身に付けていきたいと思います。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11		保護者との定期的に面接によるモニタリングを実施しています。その際、支援内容を説明し同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		日ごろからコミュニケーションをわかり相談しやすい環境を作るよう努力しています。	必要な助言や支援の質と量の向上を図る努力を続けていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	11		秋のイベントや、長期休み中に開催しています。必要に応じて機会を増やしてまいります。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		苦情はほとんど受けていません。今後も、苦情を伝えやすい環境を整備し、真摯に対応したいと思います。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	2	ホームページで定期的に発信しています。	さらに充実化を図りたいと思っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		大切な書類は鍵付きの書庫に保管し、お渡しする書類はすべてチェックし、漏洩を防止しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		時間をかけてそれぞれの子どもの特性に合わせて意思疎通を図っています。保護者様の情報も得ながら接しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	8	スタッフの家族や知り合いなどをイベントに招待し地域交流を促す努力をしています。	コロナの制限が解除されたため、これからさらに取り組んでまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11		各種マニュアルを作成し、社員と頻繁にマニュアルに基づいた研修をし、保護者様にも緊急時の対応方法をお伝えしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		地震、津波、洪水、放射能、核弾道ミサイル等、様々な災害に備えるために研修を行い、実地訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11		保護者から最新の情報を得て記録しています。服薬の対応をしています。またてんかん発作時のマニュアルも作成しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		保護者様から情報をいただき対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11		計画書を作成しています。事故や災害の時の対応だけでなく、普段、安全に業務が行えるよう計画に基づき努力しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11		保護者に書面でお知らせし、個別のニーズに合わせた連携ができるよう計画しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		頻繁に作成し、ミーティングや研修で扱い情報共有と対策を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		管理者が研修を受け、その情報を社員に伝え徹底しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11		基本的に身体拘束を行う必要性がありませんが、安全を第一に考えた対応を常に意識しています。	